

研究機関：広島大学

研究課題名	肝硬変患者に対するカプセル内視鏡検査の有用性に関する検討
研究責任者名	広島大学医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	2022年 月 日(許可日) ~ 2026年3月31日
対象者	2009年2月~2022年9月の間に、広島大学病院消化器内科でカプセル内視鏡による検査を受けた肝硬変患者さん
意義・目的	肝硬変患者における小腸病変の発生や増悪に門脈圧の上昇が関係していることは報告されていますが、長期にわたる小腸病変の経過は明らかになっておらず、内視鏡像の変化に影響を与える因子を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報(年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴)、CT検査、上下部消化管内視鏡検査所見、カプセル内視鏡所見を調査して行います。カルテから使用する内容は血液検査(血算、血清アルブミン、Bil、PT活性、NH ₃ など)、治療内容です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5538 Fax: 082-257-2930 広島大学医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 大学院生 松原 由佳